

Assessment of Interprofessional Team Collaboration Scale II (AITCS-II)

© C Orchard, 2015

AITCSはチームメンバー間の多職種連携協働を評価する調査票です。多職種連携協働の特性（どのようにチームが機能し、あなたはどのように動いているか）を考慮し、23個の質問から構成されています。

AITCSの点数のつけ方

あなたのチームや組織が実践しているレベルを、1：全くしていない、2：ほとんどしていない、3：時々している、4：ほとんどしている、5：いつもしている、の5段階で答えてください。これらの評価の点数は23点から115点となります。完了するのに、約10分かかります。

該当箇所にチェックしてください

性別：男性 女性

以下の職種の中から該当するものにチェックしてください。（主に従事している職種）

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 医師 | <input type="checkbox"/> 救急救命士 |
| <input type="checkbox"/> 看護師・准看護師 | <input type="checkbox"/> 社会福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 保健師 | <input type="checkbox"/> 介護福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 薬剤師 | <input type="checkbox"/> ケアマネジャー |
| <input type="checkbox"/> 歯科医師 | <input type="checkbox"/> 臨床心理士 |
| <input type="checkbox"/> 歯科衛生士 | <input type="checkbox"/> 栄養士 |
| <input type="checkbox"/> 理学療法士 | <input type="checkbox"/> 管理栄養士 |
| <input type="checkbox"/> 作業療法士 | <input type="checkbox"/> 精神保健福祉士 |
| <input type="checkbox"/> 言語聴覚士 | <input type="checkbox"/> 義肢装具士 |
| <input type="checkbox"/> 臨床検査技師 | <input type="checkbox"/> 看護助手 |
| <input type="checkbox"/> 臨床工学技士 | <input type="checkbox"/> 診療情報管理士 |
| <input type="checkbox"/> 放射線技師 | <input type="checkbox"/> 医療秘書 |
| <input type="checkbox"/> 視能訓練士 | <input type="checkbox"/> 医療事務 |
| <input type="checkbox"/> その他（
） | |

記入してください

臨床経験（各職種の免許取得から）：_____年

今の職場で働いた年数：_____年

Assessment of Interprofessional Team Collaboration Scale

注意：医療保健福祉の受給者は様々な言葉で表現されます。クライアントや利用者、サービスユーザーという言葉を他の専門分野では使うこともあります、今回はこの評価の目的のために、あえて”患者”という言葉を使います。

現在どのようにチームが機能し、チームメンバーの一員としてのあなたはチームの中でどう動いていると感じていますか？最も当てはまる数字に丸を付けてください。

1 2 3 4 5
全く当てはまらない ほとんど当てはまらない 時々当てはまる ほとんど当てはまる いつも当てはまる

私たちがチーム¹として働くとき、全てのチームメンバーは…
(に続くものとして、以下の間に答えてください)

1.	多職種での連携協働を臨床現場で実践している	1 2 3 4 5
2.	互いに職種がもつ権限を共有している	1 2 3 4 5
3.	互いに尊重し、信頼している	1 2 3 4 5
4.	互いに他者の考えをよく聞き、誠実である	1 2 3 4 5
5.	振り返りをもとに、メンバーの機能を変化させている	1 2 3 4 5
6.	意見の相違を満足いくよう解決するため、互いに努力する	1 2 3 4 5
7.	患者はケアの目標設定に参加している	1 2 3 4 5
8.	チームメンバーが合意できる目標は、メンバー間でともに分かちあっている	1 2 3 4 5
9.	チームでケアを選択する際に患者の希望を聴取している	1 2 3 4 5
10.	患者が参加しているチームミーティングの際には、率直なコミュニケーションを促し、サポートしている	1 2 3 4 5
11.	葛藤を解決するために話し合いを活用し、そのプロセスに合意している	1 2 3 4 5
12.	互いができることの範囲を理解している	1 2 3 4 5

¹チームの定義は、患者ケアを提供する目的で、日常的に接する相互関係がある保健療福祉専門職の集団とする。

13.	保健医療福祉専門職の間で共有した知識や技術について理解している	1 2 3 4 5
14.	チームメンバー間で信頼感を確立している	1 2 3 4 5
15.	チームメンバーが定期的に集まり、患者のケアについて話し合っている	1 2 3 4 5
16.	チームメンバーは患者ケアに必要な医療保健福祉サービス（例：経済、職業、住宅、地域とのつながり、スピリチュアルなどに関わるサービス）を調整している	1 2 3 4 5
17.	チームメンバーが患者ケアについて、継続的に話し合いをしている	1 2 3 4 5
18.	すべてのチームメンバーがそれぞれの患者の目標設定に関わっている	1 2 3 4 5
19.	患者のニーズによって、チームリーダーの役割が変化する	1 2 3 4 5
20.	チームリーダーを選択している	1 2 3 4 5
21.	チームメンバーはチームミーティングの際に、患者が参加できるよう積極的にサポートしている	1 2 3 4 5
22.	ケア計画を立案する際は、チームメンバーや患者や家族がもつている知識やスキルを活用するよう促している	1 2 3 4 5
23.	ケア計画を調整する際に、患者や家族と共に取り組んでいる	1 2 3 4 5

改訂版 2015年11月16日

ご回答いただき、ありがとうございました。

© C Orchard, 2015